

石綿スレートアスベスト 固着塗装システム カタログ

【初版】



アスベスト含有の屋根材や壁材について

アスベスト法令とアスベスト含有基材の製造年は？

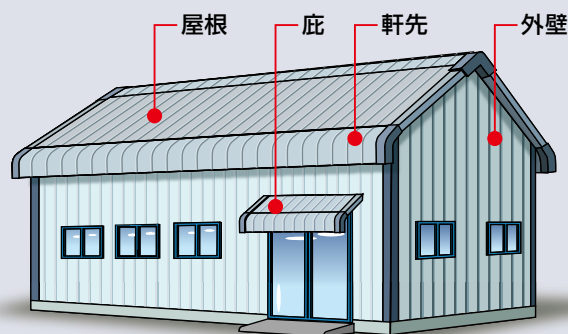
アスベストはその性能からセメント製品やボード類などの建築材料、屋根材、下地調整材、塗料などにも使用されてきました。1970年代からアスベスト規制が制定され、年々、規制が厳しくなり、**2006年9月**にアスベスト(6物質)含有率が0.1重量%を超えるものの製造、輸入、譲渡、提供、使用などが全面禁止されました。

スレートやサイディングボード、新生瓦なども製造会社にて代替検討がなされ、**2004年には代替が行われていますが、2006年9月より前の基材については調査が必要です。**

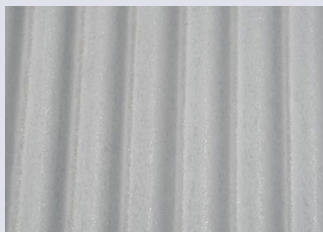
アスベスト含有基材に施工できる？ 現状の問題は？

アスベスト含有基材は耐久性に優れており、その上に塗装することは可能です。

一般的なスレート屋根や外壁施工では基材表面の汚れや劣化物などの除去のために「高圧水洗浄」などを行いますが、これらの作業により基材表面が削られます。その結果、アスベスト含有基材の場合は、空气中にアスベストが飛散・流出し、作業者はもちろん近隣の方への危険が及びます。



※アスベスト含有スレート基材は工場や倉庫の外壁や屋根で用いられている場合が多々あります。



▲初期



▲約20年後



アスベスト含有基材の試験

20年以上経過のアスベスト含有波形スレート屋根基材でアスベストの流出量を確認しました。雨水にもアスベストが含有することが分かり、高圧水洗浄を行うと排水中に非常に多くのアスベストが含有することが分かりました。

- アスベスト含有の屋根材や壁材は早めの対策が必要です。
- アスベスト含有の屋根材や壁材への施工前処理で高圧水洗浄を行う際は、厳重に流出・飛散防止対策が必要です。

試験試料	石綿アスベスト(クリンタイル)含有量
波形スレート屋根材	11wt%
波形スレート屋根材の雨水※	0.97mg/ℓ
波形スレート屋根材の高圧洗浄水	2100mg/ℓ

※雨水は屋外曝露の実際の雨水を採取しています。

●測定における定量下限値:0.1mg/ℓ未満

上記試験はあくまで当社での試験結果であり、アスベスト含有スレート基材全ての実態を表す数値ではありません。

アスベスト固着塗装システムは アスベスト含有波形スレートなどの基材に対して水洗い不要で アスベスト防止を目的とした塗装システムです。

特長 1 高圧水洗浄不要で塗膜性能に必要な物性を確保
アスベスト飛散リスクの低減

特長 2 固着シーラー(弱溶剤軟質エポキシ樹脂)が
アスベスト含有基材に浸透し、基材を固着させ高い飛散防止性能を発揮



▲未塗装

▲固着シーラー塗装



▲未塗装部
(30倍拡大)



▲固着シーラー塗装部
(30倍拡大)

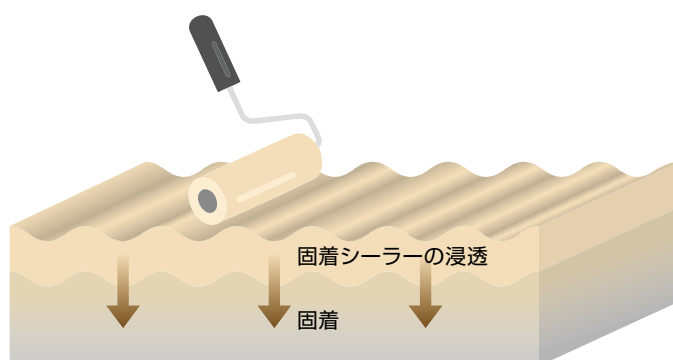
●固着シーラー施工後のアスベストの流出試験

固着シーラー施工後、アスベストの流出は見られませんでした。

試験試料	石綿アスベスト(クリソタイル)含有量
波形スレート屋根材	11wt%
固着シーラー塗装後の雨水※	0.1mg/ℓ未満
固着シーラー塗装後の高圧洗浄水	0.1mg/ℓ未満

※雨水は屋外曝露の実際の雨水を採取しています。

●測定における定量下限値:0.1mg/ℓ未満



特長 3 屋根仕様は弱溶剤エポキシ樹脂系中塗りにより飛散防止強化

屋根は、外壁と比較し太陽光や風雨、降雪といった過酷な環境にさらされるため、塗膜の劣化や摩耗が大きくなります。そのため屋根仕様は長期にわたる屋根用基材の保護とアスベスト層の露出防止を目的として強固なエポキシ樹脂系中塗りを設定しています。

特長 4 浸透した固着シーラーがアスベスト含有基材を強化

●曲げ強度試験

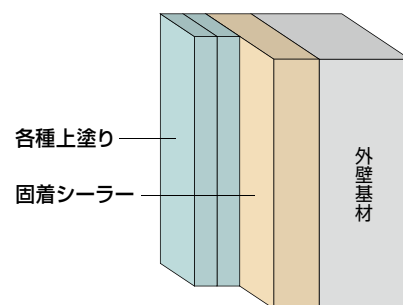
劣化したアスベスト含有スレート屋根基材に固着塗装システム施工し曲げ強度を試験。

●結果:固着塗装システム施工品は、未施工品に比較し27%の強度の向上を示しました。

試験項目	試験方法	未塗装品	固着塗装システム施工後
曲げ強度	JIS A 5430曲げ強度試験(単位:N/mm ²)	0.87	1.10

上記試験はあくまで当社試験室での試験結果であり実現場での効果を保証するものではありません。

アスベスト固着塗装システム 外壁工法



STEP
1

下地調整

スレート基材などの表面の砂やゴミなどは刷毛などを使って周囲に飛散しないように除去してください。大きなコケ、藻類、泥のかたまりについては、手作業で飛び散ったり、基材を傷つけたりしないように除去します。

**水洗い
不要です！**

STEP
2

下塗り

固着シーラーを施工し、
アスベスト含有スレート基材の強化と
アスベストの固着

※固着シーラーは表面が濡れ色になるまで施工してください。

STEP
3

上塗り

各種上塗りを施工
パラサーモ外壁用シリーズ
シルビアNADシリーズ



外壁用 製品構成

工程	製品名	色	容量	成分組成
下塗り	固着シーラー	黄色クリヤー	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤形エポキシ樹脂系塗料
適用上塗り※① 遮熱タイプ	パラサーモ外壁用F (特注色可)※③ (艶調整可)	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)※① 4kgセット(A液:3.5kg B液:0.5kg)	2液弱溶剤形フッ素樹脂系遮熱塗料
	パラサーモ外壁用Si (特注色可)※③ (艶調整可)	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)※①	2液弱溶剤形シリコン樹脂系遮熱塗料
	パラサーモ外壁用U (特注色不可)※② (艶調整不可)	標準色	15kgセット(A液:13.5kg B液:1.5kg)	2液弱溶剤形ウレタン樹脂系遮熱塗料
適用上塗り※① 一般タイプ	シルビアNADフッ素 (特注色可) (艶調整可)※④	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)※① 4kgセット(A液:3.5kg B液:0.5kg)	2液弱溶剤形フッ素樹脂系塗料
	シルビアNADシリコン (特注色可) (艶調整可)※④	標準色	14kgセット(A液:12kg B液:2kg)※① 3.5kgセット(A液:3kg B液:0.5kg)※①	2液弱溶剤形シリコン素樹脂系塗料
	シルビアNADウレタンN (特注色可)※⑤ (艶調整不可)	標準色	15kgセット(A液:13.5kg B液:1.5kg)※① 4kgセット(A液:3.6kg B液:0.4kg)※①	2液弱溶剤形ウレタン樹脂系塗料

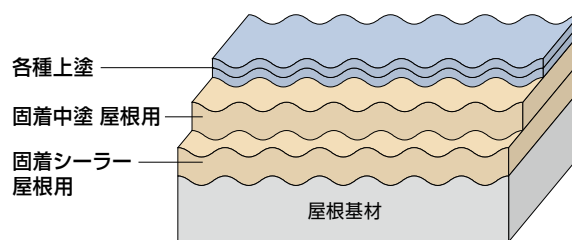
※①「パラサーモ外壁用F」「パラサーモ外壁用Si」「シルビアNADシリーズ」には弾性B液もあります。「パラサーモ外壁用F」と「シルビアNADフッ素」は2kgタイプのみとなります。
 ※②「パラサーモ外壁用U」は特注色及び艶調整は対応していません。
 ※③「パラサーモ外壁用Si」「パラサーモ外壁用F」の特注色は淡彩色及び中彩色が対応可能です。艶調整は標準色の5分艶有り、3分艶有りのみ対応可能です。特注色については、通常調色より時間を要するため、納期等については最寄りの営業所に事前のご確認をお願いいたします。
 ※④「シルビアNADフッ素」「シルビアNADシリコン」は調色対応と艶調整が可能です。艶調整は、7分艶有り、5分艶有り、3分艶有りです。
 ※⑤「シルビアNADウレタンN」は調色対応可能です。艶調整は対応していません。

外壁用仕様(上塗りは適用上塗りから選択してください)

工程	製品名	調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/m ² /回)	施工間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)
下地調整	●基材表面に付着した砂やホコリ、大きなコケ、藻類、泥のかたまりなどについては、飛散したり、基材を傷つけたりしないように手作業で除去してください。除去したものはアスベスト含有品として指定の袋にて保管し、法令に沿って適切に処分してください。 ●下地が乾燥していることを確認して塗料を施工してください。							
下塗り	固着シーラー	A液 14kg B液 2kg	1~2	刷毛 ローラー	8時間以内	0.2~0.4	2時間以上 72時間以内	—
適用上塗り	パラサーモ外壁用F	A液 14kg B液 2kg	2	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.13~0.16	3時間以上 72時間以内	NT塗料用シンナーA ローラー・刷毛(0~5%) スプレー(0~10%)
	パラサーモ外壁用Si	A液 14kg B液 2kg						
	パラサーモ外壁用U	A液 13.5kg B液 1.5kg				0.12~0.15	2時間以上 72時間以内	
	シルビアNADフッ素	A液 14kg B液 2kg					3時間以上 72時間以内	
	シルビアNADシリコン	A液 12kg B液 2kg					2時間以上 72時間以内	
	シルビアNADウレタンN	A液 13.5kg B液 1.5kg						

●大きな苔や砂などの除去時は水を散布し、飛散しないように除去してください。除去物はアスベストを含有している可能性がありますので、法令に従って処理をしてください。
 ●アスベストスレート表面はアスベストが飛散する場合があります。叩いたり、削ったりしないでください。
 ●ある程度脆弱な下地は「固着シーラー」で固めますので基材表面が濡れ色になるまで、何度も施工してください。
 ●下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合は、「固着シーラー」が乾燥しないうちに塗り重ねてください。濡れ色になるまで「固着シーラー」を施工してください。
 ●アスベスト含有基材の劣化状態によって、「固着シーラー」の吸い込み状況が変わります。そのため、使用量以上を使用する場合があります。
 ●「固着シーラー」はスプレー施工はできません。スプレー時にアスベスト飛散の原因となりますので、ローラーや刷毛での施工を行ってください。

アスベスト固着塗装システム 屋根工法



STEP
1

下地調整

スレート基材などの表面の砂やゴミなどは刷毛などを使って周囲に飛散しないように除去してください。大きなコケ、藻類、泥のかたまりについては、手作業で飛び散ったり、基材を傷つけたりしないように除去します。

**水洗い
不要です！**

STEP
2

下塗り

固着シーラー屋根用を施工

※固着シーラー屋根用は表面が濡れ色になるまで塗装してください。



STEP
3

中塗り

固着中塗 屋根用を施工

屋根は、外壁と比較し降雨や風雨、降雪など過酷な環境では、塗膜の劣化や摩耗も大きいです。そのため屋根用基材の保護や、カビ菌・藻類の成長抑制を目的として中塗りを設定しています。必ず規定使用量を守ってください。



STEP
4

上塗り

各種上塗りを塗装

パラサーモシリーズ
リリーフNADシリーズなど



屋根用 製品構成

工程	製品名	色	容量	成分組成
下塗り	固着シーラー屋根用	黄色クリヤー	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤形エポキシ樹脂系塗料
中塗り	固着中塗 屋根用	ホワイト	17kgセット(A液:15kg B液:2kg)	2液弱溶剤形エポキシ樹脂系塗料
適用上塗り 遮熱タイプ	スーパーパラサーモシリコン	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤形シリコン樹脂系遮熱塗料 (JIS K 5675屋根用高日射反射率塗料)
	パラサーモF	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤形フッ素樹脂系遮熱塗料
	パラサーモSi	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤形シリコン樹脂系遮熱塗料
	パラサーモU	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤形ウレタン樹脂系遮熱塗料
適用上塗り 一般タイプ	リリーフNADフッ素	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤形フッ素樹脂系塗料
	リリーフNADシリコン	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)*①	2液弱溶剤形シリコン樹脂系塗料
	リリーフNADウレタン	標準色	16kgセット(A液:14kg B液:2kg)	2液弱溶剤形ウレタン樹脂系塗料

※①:「スーパーパラサーモシリコン」「パラサーモF」「パラサーモSi」「リリーフNADフッ素」「リリーフNADシリコン」のB液には「猛暑型B液」もあります(35℃以上の場合)。

●上塗りの標準色の一部色相は割高になります。特注色についてはお問い合わせください。

屋根用仕様(上塗りは適用上塗りから選択してください)

工程	製品名	調合 (重量比)	塗り 回数	施工方法	可使時間 (23℃)	使用量 (kg/㎡/回)	施工間隔 (23℃)	希釈剤 (希釈率%)
下地調整	●基材表面に付着した砂やホコリ、大きなコケ、藻類、泥のかたまりなどについては、飛散したり、基材を傷つけたりしないように手作業で除去してください。除去したものはアスベスト含有品として指定の袋にて保管し、法令に則って適切に処分してください。 ●下地が乾燥していることを確認して塗料を施工してください。							
下塗り	固着シーラー屋根用	A液 14kg B液 2kg	1~2	刷毛 ローラー	8時間以内	0.5~1.0 (1~2回で)	12時間以上 72時間以内	—
中塗り	固着中塗 屋根用	A液 15kg B液 2kg	1~3	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.6~0.8 (1~3回で)	16時間以上 72時間以内	—
適用上塗り	スーパーパラサーモシリコン	A液 14kg B液 2kg	2	ローラー 刷毛 スプレー	6時間以内	0.13~0.16	3時間以上 72時間以内	NT塗料用シンナーA ローラー・刷毛(0~5%) スプレー(0~10%)
	パラサーモF	A液 14kg B液 2kg						
	パラサーモSi	A液 14kg B液 2kg						
	パラサーモU	A液 14kg B液 2kg						
	リリーフNADフッ素	A液 14kg B液 2kg						
	リリーフNADシリコン	A液 14kg B液 2kg					2時間以上 72時間以内	
	リリーフNADウレタンN	A液 14kg B液 2kg						

●大きな苔や砂などの除去時は水を散布し、飛散しないように除去してください。除去物はアスベストを含有している可能性がありますので、法令に従って処理をしてください。

●アスベスト含有スレート表面はアスベストが飛散する場合があります。叩いたり、削ったりしないでください。

●脆弱な下地表層は「固着シーラー屋根用」で固めますので基材表面が濡れ色になるまで、何度も施工してください。

●アスベスト含有基材の劣化状態によって、「固着シーラー屋根用」の吸い込み状況が変わります。そのため、使用量以上を使用する場合があります。

●下地の劣化が激しく吸い込みが多い場合は、「固着シーラー屋根用」が硬化しないうちに塗り重ねてください。濡れ色になるまで「固着シーラー屋根用」を施工してください。

●「固着シーラー屋根用」はスプレー施工をしないでください。スプレー時にアスベストの飛散の原因となりますので、ローラーや刷毛での施工を行ってください。

●「固着シーラー屋根用」が中ウミ(内部が未硬化)状態での次工程施工は避けてください。

●「固着中塗 屋根用」を刷毛およびローラー施工の場合は、使用量確保のため2~3回に分けて施工することをおすすめいたします。

●「固着中塗 屋根用」施工の場合、屋根のカビ菌などを必ず覆い隠してください。覆い隠せなかった場合、後日カビ菌が再発することがあります。

●「パラサーモシリーズ」「リリーフNADシリーズ」をスプレー塗装する場合の希釈は16kgセットに対して0~2kgとしてください。

●上塗りの各塗料は、夏場・暑さで可使時間が短くなり「2時間」程度になります。夏場はA液とB液のかくはん後、必ず「2時間以内」に使用するようにしてください。

●「スーパーパラサーモシリコン」「パラサーモF」「パラサーモSi」「リリーフNADフッ素」「リリーフNADシリコン」は35℃以上の場合、猛暑型B液をご使用ください。

●冬季は硬化を早めるために「弱溶剤トップ硬化促進剤」を使用することも可能です。使用方法は、上塗A液14kgに対して、「弱溶剤トップ硬化促進剤」100gを秤で計量し添加後、かくはんします。続いてB液を配合し、電動かくはん機で充分にかくはんしてご使用ください。

■事前調査

- アスベストを含有する屋根や壁基材の改修工事を行う際は、改修前に建築物石綿含有建材調査者による事前調査が義務化されています。調査結果は各市区町村の自治体へ報告をしなければなりません。調査結果によって適切な改修方法を決定し、必要な資格を持つ作業者が改修工事を行ってください。解体や撤去の際には資格が必要です。現行の法律を遵守して作業や報告、廃棄を行ってください。
- 「石綿ありとみなす」場合も法令の基づく処置が必要となります。

■下地条件・処理

- 下地の種類を確認してください。下地の種類が不明な場合は、下塗り塗料の選定および試験施工を行ってください。
- 周辺の状況をよく確認し、アスベストや塗料が飛散しないように十分に養生を行ってください。
- 屋根施工において、漏水がある場合や予測される場合は、下地調整前に確認し、適切な対策を行ってください。
- 油分が付着している場合は除去してください。
- モニエル瓦、スカンジア瓦などの乾式瓦、いぶし瓦、粘土瓦（素焼き瓦、いぶし瓦、釉薬瓦など）、磁器タイル、大理石、れんがタイルへの施工はできません。
- 既存塗膜がある場合の壁材や屋根材の改修や2回目の改修工事については、別工法になりますので、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 塩ビ鋼板やパイプなど可塑性を含む基材、プラスチックなどには施工できません。
- 外壁の劣化、サイディングボードの釘浮きなどの確認を行い、適切に処理してください。
- 瓦の場合、破損やズレ、役物の釘浮きなどの確認を行い、瓦の取り換えや補修が必要な場合は適切に処理してください。
- 経年劣化したサイディングボード面への施工は、表面劣化部分から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認のうえ、本施工に入ってください。
- 基材の劣化が進み過ぎた石綿スレート板に施工する場合は、反りなどが発生する場合があります。
- 屋根上での施工においては、屋根材の劣化が激しく、割れるおそれがありますので、屋根材の状況を確認して施工してください。歩行や施工足場の確保を行ってください。施工時は「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」に従い、フルハーネスや安全帯などを着用してください。
- 波形スレートなどのアスベスト含有屋根材の上を直に歩くとアスベストの飛散に繋がります。施工足場を用意するなどしてください。靴にアスベストが付着して飛散させる可能性がありますので、注意してください。
- アスベスト含有基材表面はアスベストが飛散する恐れがあります。叩いたり、削ったりしないでください。アスベストが飛散しない様にご注意ください。
- 常時結露の発生する恐れのある場所や換気が不十分な場所での施工は避けてください。
- 本製品は金属用塗料ではありません。各種金属に適合したプライマーを施工してください。

■遮熱性能について

- 遮熱性能は、明度と色相により変わります。既存塗膜の色が塗り替え予定の色より薄い場合、遮熱効果が得られない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 建物形状、構造、基材（素材）や既存塗膜の明度と色相によっては十分な遮熱効果が得られず室内温度低減効果が期待できない場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 一般屋根用塗料と当社屋根用遮熱塗料パラサーモシリーズの日射反射率の差は、濃色の同色であると大きくなる傾向があります。色相により、一部例外があるため、最寄りの営業所にお問合せください。
- 遮熱効果は、塗膜上に汚れが堆積すると遮熱性能が低下します。他にも立地環境や建物の屋根材の種類、屋根勾配、構造などが起因する場合があります。詳しくは、最寄りの営業所にお問い合わせください。
- 遮熱塗料の全面施工と部分施工では遮熱効果が異なります。部分施工では未塗装部分が影響し遮熱効果が得られない可能性がありますので、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

■施工環境・仕様・調査・施工について

- 下地調整する際は、アスベスト対策の防護具を装備し

てください。

- 本製品は標準塗装仕様書に従って施工してください。塗装仕様は、あくまで「標準」的な仕様であり、下地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより使用量や可使時間などに多少幅を生じることがあります。
- 屋外での塗装では、強風、降雨、降雪、結露が予想される場合や気温が5℃以下、40℃以上、湿度85%以上での塗装は避けてください。未乾燥状態で水分の影響を受けると艶引け、造膜不良、白化、付着不良、変色などの現象が発生し、仕上りが悪くなるばかりか性能が発揮されません。特に冬季は乾燥に時間がかかりますので、乾燥までの時間を考慮して作業を終了してください。
- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では早めに施工を終了し、十分に乾燥時間を確保してください。光沢低下、フクレ、割れ、ハガレの原因になります。
- 塗料の調査は、必ず、秤を用いて標準施工仕様書の配合比で調査し、電動かくはん機などで充分にかくはんしてから施工してください。
- 塗料を小分けして使用する場合は塗料を充分にかくはんして均一の状態にしてから分けてください。
- 角内ではA液、B液など複数の塗料を混合かくはんする時は、缶の隅や底、側面の塗料が混合されていない場合があります。注意してかくはんを行ってください。
- 本製品以外の他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 一度調査した塗料は必ず可使時間内にご使用ください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。作業性、付着力の低下や仕上がりなどが悪くなります。なお、可使時間は、塗料温度と雰囲気温度に依存します。夏季は特に短くなりますのでご注意ください。
- 施工間隔が一定以上経過した場合、次工程の塗料の付着が低下します。施工間隔を守って施工してください。また施工間隔が、標準塗装仕様書に規定された時間以上経過した場合は、目粗しなどの処理を行い、再施工してください。
- 塗料を混合した缶などは使いまわしをしないでください。混合の都度、新品を用いるか、きれいに洗浄、乾燥を行った後に使用してください。
- 塗料を調査し時間が経過した反応硬化が進んだ塗料と新たに調査した塗料を混合しないでください。可使時間が短くなったリゲルやブツが生じ施工不良を生じることがあります。
- 各工程の塗料は、塗り残しが無いように施工してください。
- 規定の使用量が塗られていないと、塗膜性能が発揮されない場合がありますので仕様書の使用量を守って塗装してください。
- 使用量が多い場合、乾燥が遅くなります。指触乾燥していることを確認して上塗りを施工してください。
- 各工程において、施工間隔（塗り重ね時間）を守ってください。施工間隔は、塗料の使用量と気温により変わります。塗膜の硬化が不十分な状態で上塗りを施工するとリフティング（塗膜のチヂミ）を起こします。また、施工間隔があくと付着性が悪くなります。
- 塗料はたまりができないように施工してください。たまりが出来た場合は、刷毛やローラーで余剰分を取り除いてください。厚塗りになると硬化乾燥が遅れるため、塗膜のフクレや剥離の原因になります。
- 下塗りや中塗りは使用量が多くなるため、塗料が流れる場合がありますので注意してください。特に屋根塗装では橋などに入らない様に注意してください。
- ローラー、刷毛などは、ほかの塗料と混合して使用すると、ハジキなどが発生する恐れがあります。充分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地刷毛などで施工してください。
- 上塗りにクリアー塗料の使用は避けてください。紫外線の透過によりシーラー層が劣化し、はく離の原因になります。
- シーリング面への塗装は塗膜の汚染や剥離、収縮割れが発生する場合がありますので行わないでください。
- 屋根材の重なり部分に塗料がたまると漏水などの原因になりますので、重なりは慎重に施工してください。また、施工後は必ず縁切りを行ってください。
- 「固着シーラー」「固着シーラー屋根用」を施工したローラーや刷毛、容器はアスベストが付着していますので、洗浄せずに固めて、適切な廃棄を行ってください。

- 施工器具は、使用後、速やかに専用のシンナー等で洗浄してください。
- 塗料は用途・用法を守り、各上塗りの個別カタログや説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所にお問い合わせください。

■取り扱い上の注意事項

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合ABC粉末消火器にて消火するなど適切な手段を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 安全衛生上の観点から、取り扱い中は皮膚に触れないようにし、石綿や有機溶剤の蒸気を吸わないよう適切な防護マスク、防毒マスク、手袋、および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などが散布したのち処理してください。
- 材料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器（取っ手を含む）はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときは、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください。偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、すみやかに医師の診察を受けてください。
- 誤って口に入った場合は、口を水でよくすすぎ、すみやかに医師の診察を受けてください。飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着した場合は、多量の水で洗い流したのち中性石鹸と水で充分に洗ってください。痛みや外観変化があるときは医師の診察を受けてください。作業着などに付着した場合は、すみやかに着替えを行ってください。
- 皮膚障害、呼吸障害がみられる場合は、医師の診断を受けてください。
- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- エポキシ樹脂塗料は体質により皮膚障害などの感受性を受ける場合があります。医師の指導を受け必要な措置を講じてください。
- 本製品の保管は必ずフタをし、雨露や直射日光の当たらない換気の良い室温5℃以下、40℃以上にならない屋内で保管してください。凍結を避けてください。現場で材料を保管する場合は、直射日光や雨露が当たらない、風通しの良い涼しい場所で保管してください。夏季に車内での保管や高温になる場所での保管は危険です。ので避けてください。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、洗浄液や廃液・汚泥などは関係法規に基づき、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 本製品は、揮発性の化学物質（有機溶剤など）を含有し、臭気が発生します。あらかじめ元請や施工主への説明を行い、了解を得てください。臭気が周辺にある物に付着する場合があります。付着が予想されるものは、施工箇所からできるだけ遠ざけ、屋内に揮発成分が流入しないように養生を行ってください。また、化学物質過敏症やアレルギー体質の方がいる場合には本製品との接触や施工を避けてください。
- 本製品の取り扱い並びに輸送及び保管については、労働安全衛生法や消防法、道路運送車両法、船舶安全法、港則法などの各種適用法令を遵守してください。
- 製品をご使用の際は、必ず、警告ラベル、安全データシート（SDS）をご参照ください。

アスベスト固着塗装工法は特殊工法のため、一定の施工技術を習得した施工店様のみが施工可能です。未習得の施工店様は当社の営業所までお問い合わせください。

*製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】



日本特殊塗料株式会社

■お問い合わせ先

東京営業所 〒114-8584 東京都北区王子3-23-2

神奈川営業所 〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10

中部営業所 〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12

大阪営業所 〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12

中四国営業所 〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13

九州営業所 〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726

☎(03)3913-6203 FAX(03)3913-6323

☎(0463)23-2135 FAX(0463)23-3739

☎(0566)81-8111 FAX(0566)81-8124

☎(06)6386-8492 FAX(06)6338-3560

☎(082)423-8231 FAX(082)423-8256

☎(0942)89-5766 FAX(0942)89-5762

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>

ISAKS-12250D-[S]#1 [2025年12月作成]定価400円(税抜き)